

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1	会議の名称	平成29年度第1回さいたまはーと推進協議会
2	会議の開催日時	平成29年5月23日(火曜日) 午後2時～午後4時
3	会議の開催場所	下落合コミュニティセンター多目的ホール
4	出席者名	協議会委員：大森宣暎会長、古倉宗治委員、藤倉幸親委員、川島恵子委員、松原満作委員、守屋二郎委員(代理)、眞塩誠一委員、千葉義則委員、北方真起委員、山口逸雄委員、山下弘晃委員(代理) 事務局：古市正典、川鍋利明、山田豊、古谷健、勝山修平、田中勝太
5	欠席者名	小嶋文委員、田中栄作委員、渡邊廣次委員、韓祐志委員、丸山信博委員、鶴岡洋委員、藤田貢委員、吉澤一寿委員
6	議題及び公開又は非公開の別	(1) さいたまはーと記載施策の平成29年度取組予定について (2) さいたまはーと推進協議会連携事業候補について (3) 2017サイクルフェスタ企画概要について (公開・非公開の別) 公開
7	非公開の理由	
8	傍聴者の数	なし
9	審議した内容	
10	問合せ先	都市局都市計画部自転車まちづくり推進課 048-829-1398
11	その他	

# 平成29年度 第1回さいたまはーと推進協議会

## 会議録

日時 : 平成29年5月23日(火) 14:00~16:00

場所 : 下落合コミュニティセンター多目的ホール

出席者 : 別紙のとおり

欠席者 : 別紙のとおり

---

### 1. 開会

事務局 司会進行、配布資料の確認、変更委員の紹介、欠席委員の紹介

### 2. 会長あいさつ

大森会長 みなさんこんにちは。お忙しいところ、また、暑い中お集まりいただき、ありがとうございます。  
さいたま市の自転車まちづくりプランを進めるため、みなさんにお集まりいただき、知恵を貸していただけたらと思います。  
本日は事務局より具体的な重点項目を説明していただくので、みなさんから忌憚のないご意見をよろしくお願いたします。

### 3. 議事

(1) さいたまはーとの施策の平成28年度の実施状況について

事務局 資料1に基づく説明

松原委員

- ・サイクルパークを郊外に作るのであれば、そこまでのアプローチの中で観光できる場所、立ち寄れる場所があると、よりつながりやすいのではないか。
- ・タイのバンコクで見たレンタサイクルはトラックバイクやシングルスピードなど専門車に特化していた。市も面白い自転車

を置いてみるとよいのではないか。

・優遇制度では、ストラバを活用し、サイクルマップをメールで共有などすればゲーム感覚で楽しめるようになると思う。

事務局                    ・民間事業にのっていくのは、非常にやりやすい。今後検討させていただく。

古倉委員                    ・たのしむ②ー２のサイクリングマップ作成では、サイクリストだけでなく一般の方が使えるような情報があるとよい。勾配(縦断)などを地図に乗せるのはサイクリスト向けによくあるが、勾配を例えば、“座ったまま”“おしりを上げて”“おりて押す”など 3 種の差を表現するなど初心者でも分かるような一般向けの情報があるとよいと考える。

・出合頭での自転車ルールが守れておらず、事故が多い。ルールを守ることが大事である。看板は事故が多い場所に設置するとよい。その場所の事故原因を調べ、看板と対応させるとよい。その場所にあった乗る人の気持ちを考えること。

事務局                    警察に伺いたい。さいたま市の事故データ、事故原因のデータはどこまでもらえるのか。

山口委員                    出せるものは全部だす。事故原因は出せる。

山口委員                    前回まとめた資料のなかで、教育委員会が入試に使った事故データがある。

中学校の勉強で使用されることは、とてもよいことである。さらに教育委員会に働きかけてくれるとよい。

川島委員                    守るについて

通学自転車などをみると、並走していたり、右側を通行していたり、学校で誤ったことを指導しているのではないか。

“通勤”“通学”“子供”“スポーツバイク初心者”は特に「守る」対策が必要である。

大人の自転車講習会などを行うならば「マナーを守る」ではなく「ルールを守る」べきである。

最近、マスコミも取り上げておらず、意識が落ちている。

市内だけでも大人の走行ルールの施策はできないか。

事務局 大人向けの施策は次の項目でとりあげる。  
初心者について、高校生のスポーツバイクが増えており、ママチャリからスポーツバイクへ乗りかえた際、ヘルメット未装着や信号無視などが多く、対策が必要である。

議事 (2)さいたまはーと推進協議会連携事業候補について  
(3)2017 サイクルフェスタ企画概要

事務局 資料2及び3に基づく説明

北方委員

- ・過去2回行った協議会の中で、意見をくみあげていただきうれしく思っている。
- フェイスブックの案はよい取り組みである。埼玉県フェイスブックはポタガルを使っているが、いつ見ても楽しい。作るのであれば協力できるし、旬な情報を載せることが重要である。
- ・職員の人材育成は、東京都にも伝えており、検討しているとのこと。さいたま市でもさっそく取り組んでほしい。
- ・大人向けの講習会はYAMAHAで指導員を派遣する事業を行っている。
- ・思いやり1.5m運動について、ここに歩行者も入るとオリジナルのものができてよい。
- ・パパママ自転車教科書はやりたいと思っていた。今までテキストやチラシを集めていたが段階的な教え方をみたことがない。オリジナルを作るのは先進的な市としてPRする機会になるのでよい。

大森会長 YAMAHAの大人向け講習会はどこを対象に実施しているか。

北方委員 自治体や学校など。  
実技や座学を行っている。ホームページ等に掲載している。

藤倉委員 一般車やスポーツ車などすべてに対して行っているのか。

- 北方委員 依頼次第で対応できると思う。ルールはほとんど一緒である。
- 藤倉委員 “マナーを守る”レベルの話は受けない。「健康面」「駐輪場が安くなる」などメリットや罰則がないとやらないと思う。シートベルトなど、罰則があるからやっているものだ。  
大人向けにやるのであれば、限られた人だけだと意味がない。受講者を増やすには受けてよかったと思えるプラスアルファが必要だ。
- 古倉委員
- ・大人はルールを知っていても守らない人が多い。ルールの内容でなく、事故を起こした時の損害賠償の話や子供が真似すると危険だというようなルール遵守を励行させる話が大事である。
  - ・思いやり 1.5m 運動について、ドライバー向けの啓発や自転車の利用促進の中身をしっかりと入れ込むこと。  
車ドライバーによる自転車への配慮の仕方が大事である。
  - ・さいたま市内は道路が狭いが、例えば 2 車線道路の追い越し禁止路線で自転車を追い抜く場合、センターラインを越えても違反にならないのか、確認してほしい。1.5m 空けた時、車に問題なければよい。
  - ・各所で路上観察していると、矢羽根について、車は踏まないようにセンターラインぎりぎりを走っている。たとえ幅員が狭い道路であっても相当効果がある。
  - ・巻き看板には、車ドライバー向けの内容を含めるほうがよい。
- 山口委員 片側 1 車線で黄色いラインがあった場合、たとえば駐車車両がいて、その車両をはみ出して追い越すことは問題ない。ただ、自転車を追い越す際、はみ出し禁止が問題になる可能性があるため、宿題にさせてもらいたい。
- 千葉委員 教習所としては、はみ出し追い越し禁止の場所で、はみ出さなければ追い越しをしてもよい。教習生には、法的に車が駄目であれば、自転車も駄目である。と説明はするが、抜かないとどうなるのかというと渋滞が発生する。しょうがないから、進路変更の合図を出し、反対車線を確認し、追い抜きましょうと説明している。

藤倉委員 自転車も車両だが、進路を変えずに、追い抜きした場合どうなるのか。

千葉委員 はみ出し追い越し禁止となるので、進路を変えずにはみ出さなければ問題ない。

事務局 行政として法に違反させることはできない。

川島委員 ・思いやり 1.5m 運動については、1mでもよいのではないか。1mも確保できていない人がいる。他自治体で行っていることに、付随することはよいことである。また、数字が入っていると注目されやすい。

推進協議会の活動は、意識付けが大事。このことが議論になり、流行ってくればよいと思う。歩行者への配慮も入っているとなおよい。

・夜に黒い服装で、なおかつ小さいライトで走行している自転車が数多く見受けられる。車のドライバーからは直前まで視えない。意識が足りないため教育が必要である。

・フェイスブックは非常によい。ただし動画や写真などを提供してくれる常勤のボランティアがいないとネタ集めが難しい。協議会のネットワークを利用して仕事でなく参加してくれる人を探すなど、組織づくりが必要。ずっと埼玉に住んでいて、街をよくしたいと思っている、そういう人材がいればうまくいくと考える。

・市の職員から安全講習を行うのはよい取り組みである。また、サイクルフェスタでコンテンツとして利用できればなおよい。ミニテストやスタンプラリーを実施し、最後に講習を受け、カードを景品として渡すなどするとよいのではと考える。

千葉委員 スケアードストレイトについて、外部団体からコースを貸してくれと連絡が入ることがあるが、同様な形で場所貸しはできる。また、インストラクターも講習ができる。

教習所で行っている対象は主に幼稚園から高校生など。大学でも講習を行っているのだからそういうことは可能である。小学生や中学生はルールを守るが高校生以上になるとルールを守らなくなる。

年に1回、自転車安全教室をやるが、「子供＋親」で募集すると、あふれるほど応募がある。“子供と一緒に”が大切だ。大人だけの自転車講習会は現在行っていない。

・今、国際航業バスの運転手席に「安全運転リーダー」という掲示がある。模範推進委員も免許を渡すだけだとポケットにしまわれてしまうので、ヘルメットに貼るなど、はたから見てわかるようにしたらどうか。

・高校生の講習では、実際の通学路を後ろからビデオ撮影し、その画像を見せて「みなさんの通学の状態です」と見せると効果がある。実際のその学校の通学現場をみせると意識が高まる。しかし、意識するのはそのときだけである。

- |      |  |
|------|--|
| 事務局  | 大学生向け講習を大人向けで行っても問題ないか。  |
| 千葉委員 | 大学生向けデータを大人向けに変更すれば問題なくできる。  |
| 事務局  | 講習内容を検討し、ぜひ市職員向けに力を入れて行いたいと思っている。自転車通勤者は全員参加させたい。<br>庁舎管理課で車向け講習会は行っている。 |
| 大森会長 | 教習所で実施している講習会に、委員会で視察に行くのはどうか。   |
| 千葉委員 | 学校側の受け入れ次第。学校から依頼がきたら、提案してみる。  |
| 古倉委員 | 3人乗り自転車のこれからの方向性について、実際に貸した人からアンケートをとり、効果を実証してくれるとよい。                    |
| 事務局  | アンケートは取っている。一番の効果は子供にヘルメットをかぶらせるようになったことである。                             |
| 古倉委員 | 事業が役に立ったという結果になればよい。予算要求もやりやすいだろう。効果をしっかりと明らかにすることが大切だ。                  |
| 事務局  | 財政部門は2000万円の事業で、対象が200人では少ないと考えている。今の貸出はすぐに止められないので来年度以降も継続              |

しつつ、新しいステップを検討したいと考える。

大森会長 一人当たりにあてる金額を減らし、人数を増やすなどできると思う。

大森会長 1.5m 運動について、さいたまはーとのロゴマークの活用やオリジナルステッカーをつくとよい。  
パパママ教科書の保健師の訪問でベビーカーの安全な利用方法などと、あわせて作れるとよいのでは。

事務局 パパママ教科書は、まとめ次第また話をしたい。

#### 4. 閉会

事務局 次回開催は未定だが、決まり次第事務局より案内する。  
また、意見交換したいテーマや提案があれば、事務局まで連絡をいただきたい。



平成29年度第1回 さいたまはーと推進協議会 出席者名簿

【敬称略】

選出区分	役職等	氏名	出欠	代理出席者	随行者
学識経験者	宇都宮大学 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 教授	大森 宣暁	出	—	—
	(株)三井住友トラスト基礎研究所 研究理事	古倉 宗治	出	—	—
	埼玉大学大学院 理工学研究科 環境科学・社会基盤部門 准教授	小嶋 文	欠	—	—
自転車関連事業者 ・利用者等	(一財)日本自転車普及協会 常務理事	田中 栄作	欠	—	—
	埼玉県自転車軽自動車商協同組合 浦和支部	藤倉 幸親	出	—	—
	埼玉県サイクリング協会 理事長	渡邊 廣次	欠	—	—
	(一社)グッド・チャリズム宣言プロジェクト 代表理事	韓 祐志	欠	—	—
	(株)サイタマサイクルプロジェクト 代表取締役	川島 恵子	出	—	—
	バイクロア実行委員会 統括	松原 満作	出	—	—
	さいたま市商店会連合会 会長	守屋 二郎	出	木下 善晴	—
公共交通事業者 運送事業者	東日本旅客鉄道(株)大宮支社 企画室長	丸山 信博	欠	—	—
	東武鉄道(株) 大宮駅駅長	眞塩 誠一	出	—	—
	(一社)埼玉県バス協会 専務理事	鶴岡 洋	欠	—	—
	(一社)埼玉県乗用自動車協会 事務局長	藤田 貢	欠	—	—
	(一社)埼玉県トラック協会 事務局長	吉澤 一寿	欠	—	—
交通安全 事業者等	(株)臼田 ファインモーターズスクール 品質保証部課長	千葉 義則	出	—	齋藤 千絵
	Wa-Life Labo 代表	北方 真起	出	—	—
行政	埼玉県警察さいたま市警察部 主席調査官	山口 逸雄	出	—	—
	埼玉県県民生活部広聴広報課 副課長	山下 弘晃	出	大野 加余子	—